



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2009.2.18 (No.2536) 週報 No.29

第2560地区ガバナー／馬場信彦  
会長／中村和彦  
会長エレクト／菊池 渉 (クラブ奉仕A)  
副会長／樺山 仁 (クラブ奉仕B)  
幹事／石月良典  
S A A／明田川賢一  
会計／杉山幸英

例会日／毎週水曜日12:30～  
例会場及び事務局／  
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを  
押してください)

- 本日の出席会員数:59名中36名
- 先々週出席率:80.36%

【ゲスト】

・新潟県産業労働観光部  
局長 坂巻健太 様

【ビジター】

三条ローターアクトより

- ・中野直人さん
- 米山奨学生
- ・ケオ・ヴィチエット君

【先週のメイクアップ】

- [2.5] 加茂RCへ
- ・西川文夫さん、 渡邊喜彦さん
- [2.5] 三条東RCへ
- ・石月良典さん
- [2.9] 三条南RCへ
- ・佐野勝榮さん
- [2.12] 三条東RCへ
- ・成田秀雄さん、 丸山行彦さん
- ・山田富義さん、 藤田絃一さん
- ・石橋育於さん、 加藤紋次郎さん
- [2.14] 米山奨学セミナーへ
- ・菊池 渉さん、 会田二郎さん
- [2.17] 第4分区分会長会へ
- ・菊池 渉さん



「夢をかたちに」

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ



寒梅

# 会長挨拶

中村和彦 会長



サラリーマン川柳から

「第一生命サラリーマン川柳コンクール」  
が大好評のうちに幕を閉じました。

ここ数年の川柳の中から、いくつかをご  
紹介します。

## 1◆夫婦を題材とした中から

- ・いい家内10年たったらおっ家内
- ・ボディコンを無理して着ればボンレスハム
- ・妻の字が 毒にみえたら倦怠期
- ・セクハラを 私にもしてよと妻がいい
- ・粗大ゴミ毎朝出すのに夜もどる
- ・脳トレをやるなら先に脂肪トレ
- ・スッピンで我が子を抱けば泣きやまず
- ・行き先を告げず出掛けるネコと妻
- ・「いつ買った？」返事はいつも「安かった」

## 2◆不景気な世相を反映して

- ・職安に君たちがいて僕がいた
- ・人探ししていた人事課あら探し
- ・またひとつ備品なくなる不況かな
- ・お取り引きバブルはじけてお引き取り (書く順が逆転すると、全く意味が違うことを改めて知った)
- ・オレにあたたかいのは便座だけ
- ・赤字だぞ あんたが辞めればすぐ黒字
- ・クビになり「独立した！」と言いふらす

### 3◆その他

- ・イナバウアー—発芸で腰痛め
- ・お年玉あげると孫はすぐ帰る

## ロータリーとは

### ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。

ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を越え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数33,114、会員総数1,206,089人(2008年6月30日RI公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。

その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

## 幹事報告

石月良典 幹事

◎阿賀野川ラインロータリークラブより創立10周年記念式典のご案内が届いております。

と き 4月18日(土) AM10:00~PM2:30  
ところ 阿賀の里 楽市じばんぐ

◎馬場ガバナー事務所よりロータリーレート変更のご案内が届いております。

88円(現行)→3月1日より90円

◎台湾、新竹城中RCの会員8名が4月15日(水)に来られます。歓迎会と旬例会を兼ねて4月15日(水)は夜例会となります。

## ニコニコBOX

中村和彦さん

坂巻様、公務大忙しの中卓話ありがとうございます。先週2月14~15日、友人と八方尾根にスキーに行ってきた。北アルプスがきれいでした。

石月良典さん

確定申告が始まりました。皆様もお早めに。本日の卓話、産業労働観光部 坂巻様ありがとうございます。

菊池 渉さん

昨日、次年度第四分区会長の顔合わせがありました。いよいよ時期到来かと実感しました。

樺山 仁さん

新潟国体が始まりました。楽しみです。本日卓話の坂巻様のお話が楽しみです。

渡辺勝利さん

坂巻局長、卓話ありがとうございます。景気良くしてください。

五十嵐昭一さん、会田二郎さん、平原信行さん、明田川賢一さん、若槻八十彦さん、船越正夫さん、伊藤寛一さん、浅野金治さん、石塚欣司さん、米山智哉さん、

新潟県産業労働観光部 坂巻様、卓話ありがとうございます。

阿部吉弘さん

久しぶりの出席でした。

川瀬康裕さん

ボックスに協力して。

2月18日分 ￥17,000  
今年度累計 ￥798,000

## 卓 話

### 「2009大観光交流年」を迎えて



新潟県産業労働観光部  
観光局長 坂巻健太 様

#### 1. 本県観光の現状

- 中越沖地震（H19）の風評被害は概ね払拭か。  
・H20夏の海水浴入込客数：  
H18の約8割まで回復

【県統計】

- ・H20 上半期（1～6月）の延べ宿泊者数：  
前年比+5.8%【観光庁統計】

- 中越大震災（H16）以前の水準までは未回復。旅行者ニーズの変化への対応も課題。
- 宿泊施設定員稼働率の低迷：  
31.5%（H19／全国47位）【観光庁統計】
- 外国人旅行者は増加傾向も、昨年後半から円高の影響あり。特に韓国、台湾。

#### 2. 2009 新潟県大観光交流年の目指すべきもの

- 大河ドラマ、国体、デスティネーションキャンペーン（新潟DC）等を生かした県内外からの集客・リピーター化→2度の地震のダメージからの完全脱却
- 2014年北陸新幹線金沢延伸に備えた「観光まちづくり」「観光地再生」プロセスの端緒に。  
・「天地人」：埋もれていた歴史・文化資源の掘り起こし手法、ガイド育成  
・「新潟DC」：地域発の受入企画や二次交通の充実

#### 3. 新潟DC「うまさぎっしり新潟」

- 「食」がメインテーマ→農林水産業等地場産業との連携強化も目的の一つ
- 1年前のプレDC（H20.10.12）でトライアル・効果検証  
・観光入込客：  
463.3万人→H19比+11.2%（H18比+3.1%）  
・宿泊者：  
26.1万人→H19比-0.8%（H18比-7.1%）  
※観光入込客・宿泊者ともにサンプル調査

⇒地元受入企画を充実させた地域・施設は好調  
（関川：渡辺邸、新潟：北方文化博物館、トキメッセ展望室、田上：椿寿荘、佐渡：トキの森資料館等）。

#### 4. 県の観光施策

- 県観光局・観光協会補助事業（ソフト・ハード）  
+中越大震災復興基金  
・中長期的な体力強化に資する事業を重点的に支援（他産業や地域との連携、受入体制強化）
- 県地域振興局の地域振興プロジェクト
- 観光立県推進条例～観光地サービスの評価・公表・指導・助言 → H21年度手法検討

#### 5. 地元求められるもの

- 何を：地元の「光」にこだわった企画づくり・商品化
- 誰が：観光関係者と地元農漁業・商工関係者と連携した「まちぐるみ」の取り組み
- さらに：近隣市町村との広域連携、まちあるき・景観保全のストーリーづくり
- もちろん：おもてなし、サービス水準の向上

#### 6. 三条の可能性（食・産業・歴史）

- 「ときめきカレーラーメン」（70軒参加）が好評  
→蘊蓄が必要
- 「三条鍛冶雑炊」の浸透
- 「金物産業」の産業観光化・食とのコラボ
- 「越後のミケランジェロ・石川雲蝶」作品（本成寺・石動神社）→2014年生誕200年
- 燕三条駅からの2次交通やガイド育成

新潟県では、本年を「2009新潟県大観光交流年」と位置づけ、2度の震災で減少した観光客の完全回復を目指すとともに、さらなる増加を目指す勝負の年と位置づけている。

新潟ゆかりの武将、直江兼続を主人公にした大河ドラマ「天地人」の放映、国体の開催、JRと地元が連携して行う全国キャンペーン「デスティネーション・キャンペーン（DC）」等が重なる本年は、百年に一度のチャンスと言っても過言ではない。

本県観光の足元の現状を見ると、2007年に発生した中越沖地震の風評被害は概ね払拭し、昨年の海水浴客数は2006年の8割まで回復した。全国比較が可能な国土交通省（観光庁）の宿泊統計においても、2008年上半期の延べ宿泊者数は317万泊、前年比6%増となっており、増加率は全国でも上位に入る。ただし、中越地震以前の水準には依然戻っておらず、地震の影響払拭だけではなく、団体・周遊型から個人・滞在型へとといった旅行者ニーズの変化への対応が求められている。要は「団体客だけに頼らない上質な観光地」を目指さねばならない。

今年の1月から始まった「天地人」は、視聴率が首都圏で25%、本県に至っては45%に届かんとする驚異的な数字をたたき出し、ゆかりの地である南魚沼、上越、長岡等では県内外からの来訪者が増加するとともに、その他のエリアでも宿泊や立ち寄りといった形でプラスの効果が現れてきている。週末の高速道路料金一律1,000円が実現すると、その流れはより加速するものと思われる。夏には、十日町・津南エリアで、3年に一度の「大地の芸術祭」が開催され、前回実績の35万人を越える国内外からの集客が期待できる。

10月からはいよいよ「新潟DC」がスタートする。「うまさぎっしり新潟」と題し、新潟の誇る「食」を切り口にした全国規模の宣伝・PRや多数の地元受入企画が展開される。昨年10月から12月にかけて、DC一年前のプレキャンペーンを実施したところ、観光入込客が前年比11.2%増になる等成功を収めている。景気の悪化により残念ながら宿泊者は0.8%減となったが、豪農の館で地元料理を提供するといった土地の風土・歴史・食にこだわった企画が大好評を博す等、今後目指すべき方向性が明確になる結果が出たことは大きな収穫であり、本年の本番DCに向けて内容を練り上げているところである。

このような効果・取り組みを「一過性に終わらせない」、これが関係者の合い言葉となっている。2009年が過ぎると、2014年には北陸新幹線の金沢延伸が待ち受けており、観光地の地域間競争激化や上越新幹線の相対的地位低下のおそれが巷間で囁かれているが、「大観光交流年」が目指すものは、2014年問題に微動だにしない「観光まちづくり」プロセスの端緒を開くことである。「天地人」は地域に埋もれていた歴史・文化資源の掘り起こしと、それを物語として紡ぐガイド育成や地元一体となった盛り上がり手法のモデル事例となり、「新潟DC」は目の肥えた旅行者を満足させる地域発のコンテンツ充実や駅から観光地までの2次交通の充実に向けたトライアルである。2009年以降もこういった取り組みを愚直に継続・深化させることで、真に足腰の強い観光地ができると確信している。

新潟県では県観光協会と連携して、地元の受入体制強化に繋がるハード・ソフト両面での支援措置を講じている。本年1月には「新潟県観光立県推進条例」を制定し、観光を通じた地域づくり・経済活性化を本県施策の柱の一つとして位置づけ「観光立県」を宣言するとともに、旅行者の満足度向上のための取り組みを促す手段として、観光地のサービス評価を県が実施することを条例上明記し、具体的な手法の

検討を開始している。

三条については、いわゆる従来型の観光地ではなかった分、逆に非常に大きなポテンシャルを有していると考えており、今後の展開に大いに期待している。これからの観光は観光事業者だけのものではなく、商工関係者、農林水産業関係者、教育関係者等と連携して地元の風土・歴史・産業やそれに根ざした暮らしぶりを「まちぐるみ」で見せていくことが重要である。三条では「カレーラーメン王国」と名乗りを挙げ、70軒にも及ぶ店舗が参加する企画が進められており、燕三条系ラーメンに続いてブレイクする可能性は極めて高いが、今後は「なぜ三条でカレーラーメンなのか」という蘊蓄をきちんと説明できることが鍵である。さらに地場産業である金物・刃物の鍛冶職人が好んで食べたという「鍛冶雑炊」と体験施設「鍛冶道場」は、食と地場産業をつなぐ物語が出来上がっており、訴求力の高い素材となっている。一方、燕三条駅からの交通アクセスは課題であり、長岡で実施している「駅から観タクン」のようなタクシーを活用した2次交通整備の取り組みも欠かせない。

また、我々が光を当てていきたい「新潟観光の隠し玉」の一つに、江戸時代の名工で「越後のミケランジェロ」と称される石川雲蝶の作品群が挙げられる。「良い酒と鑿を与える」という条件で三条の酒井氏に養子に入った雲蝶の作品は、当地でも本成寺や石動神社で愉しむことができる。2014年が雲蝶生誕200年に当たり、この記念すべき年に向けて全国的知名度向上や地元の受入体制を整備したいと考えている。本県における観光消費額は4000億、生産波及効果を加えると7000億、雇用効果も7万人という数字が示すように、観光は県経済の5%を占めるすそ野の広い産業である。入込客数や宿泊者数を増加させるとともに、地産地消やまちなか消費を進めることができれば、より一層地域経済に貢献できる。

未曾有の世界同時経済不況の中ではあるが、「観光から新潟を元気にしたい」と考えているので、ご理解とご支援をお願いするとともに、是非県外の方々に向かってご当地自慢をして頂き、「一度新潟に遊びに来てください」と呼びかけて頂きたい。



## 2009年大観光交流年のスケジュール



### 【2008年】

- 9月 トキの試験放鳥
- 10月 新潟プレDC(～12月)  
11月5日 全国宣伝販売促進会議(於:朱鷺メッセ)

- 4月 県観光局設置
- 10月 国土交通省観光庁設置

### 【2009年】

- 1月 大河ドラマ「天地人」放送開始
- 2月 冬季国体
- 7月 大地の芸術祭(～9月)
- 9月 国体(～10月)
- 10月 新潟DC(～12月)

- 1月 県観光立県推進条例施行
- 3月 県観光立県推進行動計画策定(予定)



2010年以降にいかにつなげるか

## 観光局の設置(20. 4～)



### ○観光立県の推進に向けた体制強化

【～19年度:19名】

- 産業労働観光部長
  - └ 観光企画監
  - └ 観光振興課
    - └ 広域・国際観光室

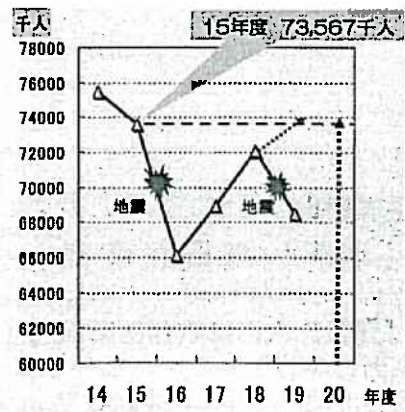
【20年度～:23名】

- 産業労働観光部長
  - └ 観光局長
    - └ 交流企画課
      - └ 中長期的戦略・部局間連携
      - └ コンベンション誘致・大地の芸術祭
    - └ 観光振興課
      - └ 広域・国際観光室
        - └ 宣伝を中心とする観光振興策
        - └ 2009年大観光交流年推進
        - └ 外客誘致・他県との広域連携

## 本県観光の現状



### ○2度の震災により観光客が大幅に減少



- 16年度 66,133千人  
…△10.1%:中越大震災発生
- 17年度 68,919千人  
…+ 4.2%
- 18年度 72,059千人  
…+ 4.6%
- 19年度 68,441千人  
…△ 5.0%:中越沖地震発生

# 3月の行事予定

三條ロータリークラブ例会日

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ◆三条南RC 会員卓話 佐藤嘉男会員	3 ◆三条北RC 夜例会 「ひな祭り例会」 PM6:30～ (記帳できます)	4 ◆三条RC 外部卓話 三条乗馬クラブ 理事長 増田完市 様	5 ◆三条東RC 外部卓話 「有機農法」 田辺 稔 様	6	7
8	9 ◆三条南RC 外部卓話 新潟県中央福祉 専門学校 講師 知野吉和 様	10 ◆三条北RC 10日(火)→14日(土) 社会奉仕事業 “森の熊さん” 「食育講演会」 PM6:30～ (記帳できます)	11 ◆三条RC 外部卓話 「元気な人には訳がある」 ガレージ1 エアロビクスインストラクター 水科江利子 様	12 ◆三条東RC 会員卓話予定	13	14 ◆2009～ 2010年度 PETS (柏崎)
15	16 ◆三条南RC クラブ休会 (記帳できます)	17 ◆三条北RC 「エレクト研修」 報告	18 ◆三条RC 会員卓話予定	19 ◆三条東RC PETS報告会	20 春分の日	21
22	23 ◆三条南RC 会員卓話 銅冶康之会員	24 ◆三条北RC 米山奨学生 スピーチ タンヴィル君	25 ◆三条RC クラブ休会 (記帳できます)	26 ◆三条東RC 会員卓話 外山信良会員	27	28
29	30 ◆三条南RC 会員卓話 坪井正康会員	31 ◆三条北RC クラブ休会 (記帳できます)				

※近隣RC例会変更のお知らせ！(記帳できます)

- 吉田RC ————— 3月6日(金) 7日(土)～8日(日) 一泊移動例会
- 加茂RC ————— 3月19日(木) 夜例会 「ボトラックパーティ」
- 燕RC ————— 3月26日(木) 夜例会

次週例会 3月4日 外部卓話 三条乗馬クラブ  
理事長 増田完市 様

次々週例会 3月11日 外部卓話 「元気な人には訳がある No.2」  
ガレージ1  
エアロビクスインストラクター 水科江利子 様

